

消費生活センターにご相談ください

消費豆知識 46

商品が届かない！ネットでの買い物は慎重に

事例

孫娘が欲しがっていたランドセルをインターネットで探したら、定価6万円のところ半額で販売しているサイトを見つけ、希望の色もあったので申し込んだ。翌日、受注メールが届き、振込先口座が記載されていたので振り込んだ。振り込み確認後、1週間で届くはずが1か月経っても届かない。その後、メールや申込みフォームから催促しても返信がない。サイトにも住所、電話番号は書かれていない。詐欺サイトだったのか。

・インターネットによる通信販売では「注文したが商品が届かない」「海外からニセモノが届いた」「連絡が取れない」などのトラブルが多発しています。これは海外の詐欺サイトに多く、既存の通販サイトを模倣したり、大手企業のロゴを無断で使用するなどして信用度を高めているサイトもあり注意が必要です。

- ▼相談日時 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前9時～正午、午後1時～4時
- ▼相談場所 上三川町消費生活センター(役場3階)
- ▼相談専用電話番号 ⑤6 9153

・外見上の特徴として「連絡先や電話番号が明記されていない」「日本語に若干違和感がある」「画像が一部不鮮明」などがあります。ブランド品を扱っている場合や明らかに安価な場合はニセモノの可能性があります。

・商品が届く前に代金を支払ってしまうと、トラブルにあった場合に被害金を取り戻すことが難しくなります。前払いによる購入は十分注意しましょう。

・インターネット通販では、サイト内に事業者の名称、所在地等を表示しなければなりません。電話番号などを必ず確認し、それらの表示のないサイトでの買い物はやめましょう。



パブリックコメントの実施結果について

○「第2次上三川町地域福祉計画・第3次上三川町社会福祉協議会地域福祉活動計画」素案

○「第2次上三川町障がい者基本計画」素案
地域福祉の推進を図るため、町と町社会福祉協議会が共同して作成した「第2次上三川町地域福祉計画・第3次上三川町社会福祉協議会地域福祉活動計画」と障がいのある方の自立及び社会参加の支援等を推進するための「第2次上三川町障がい者基本計画」素案について平成28年12月12日(月)～平成29年1月10日(火)にパブリックコメントを実施しました。

その結果、意見等はありませんでしたのでお知らせします。

▼問い合わせ先 福祉課 福祉人権係 ⑤6 9128

○上三川町公共施設等総合管理計画(案)

公共施設等を中長期的視点から、安全・安心で持続可能な管理を実現するための「上三川町公共施設等総合管理計画(案)」について平成28年12月12日(月)～平成29年1月10日(火)にパブリックコメントを実施しました。

その結果、意見等はありませんでしたのでお知らせします。

▼問い合わせ先 建築課 計画係 ⑤6 9145

優良運転者表彰上申について

▼表彰基準 上三川町民であり、常に交通法令を守り安全運転に心がけ、他の運転者の模範と認められる方で、運転免許（所持免許の最古のもの）の取得期間が次の項目に該当する方。

●『栃木県警察本部長・栃木県交通安全協会会長表彰』

○40年表彰

昭和52年3月31日以前に運転免許を取得した方

○30年表彰

昭和61年4月1日～昭和62年3月31日の間に運転免許を取得した方

○20年表彰

平成8年4月1日～平成9年3月31日の間に運転免許を取得した方

●『下野警察署長・下野地区交通安全協会会長表彰』

○15年表彰

平成13年4月1日～平成14年3月31日の間に運転免許を取得した方

○10年表彰

平成18年4月1日～平成19年3月31日の間に免許取得を取得した方

○5年表彰

平成23年4月1日～平成24年3月31日の間に運転免許を取得した方

▼不適格者 〃

①過去5年以内に交通法令に違反した方（合計3点以下の違反は除く）

②過去に緑十字銅賞などの表彰を受けた方

③その他表彰基準の欠格事項に該当する方

▼申込方法 〃運転免許証、上申経費（630円）、印かんを持参の上、3月31日（金）までにお申し込みください

（平日午前8時30分から～正午、午後1時～5時15分）

上申経費は審査手数料となりお返しできませんので、留意ください。

▼申込・問い合わせ先 〃

総務課 交通防災係 ☎(56)9115

上三川の自然災害

忘れなごうじやけんじや

1995年の阪神淡路大震災、2011年の東日本大震災によって大きく防災意識が高まりました。

しかし、どうしても震災直後に保存食を買い貯めたり、防災グッズを用意したりするに留まり、時間がたつにつれ、「遠い昔のこと」「自分の生きていく時代にはもう災害はない」という安堵感が漂っているようにも感じます。

物理学者であり随筆家でもある、寺田寅彦の「天災は忘れた頃に来る」という言葉は、関東大震災を経験した後、災害が繰り返り起こっていることを身近な人々に繰り返して話した言葉といわれます。

二つの大きな大震災を経験した現代を生きる我々、特に直接的な被害を受けた人々は、それを伝えていく必要性を今も感じています。しかし、被害の中心の遠いところから徐々に、そして少しずつ、確実に災害の記憶は薄れていきます。

しかし、「覚えていること」、「備えること」、そして「伝えること」によって災害が起きたときに守れる命は確実に増えます。

上三川町は災害の少ない町だといわれます。ただし、それは上三川町ができてから、災害で大きな人的被害が確認されていないというを示すに過ぎません。災害が起こる前の今、過去の災害を振り返り、これから来る災害を考えてみませんか。



穏やかな日常を守るために私達にできることは。

【花粉症対策】睡眠不足やストレスが花粉症の悪化の原因になってしまふことがあります。